

## ⇒日本遺産サミットin小松

**と き** 11月13日(土)・14日(日)

**メイン会場** こまつ芸術劇場うらら(以下「うらら」)、サイエンスヒルズこまつ(以下「ヒルズ」)、こまつの杜

**内容** 13日・シンポジウム(うらら大ホール)・公開講座(うらら小ホール)

14日・日本遺産&お祭りステージ(うらら大ホール)

・海外ライブ配信(ヒルズ3Dスタジオ)

**両日**・日本遺産PR展示、体験ブース(3会場)

・日本遺産映像上映(ヒルズ3Dスタジオ)



日本遺産サミットの両日、下記の拠点地区に那谷寺を加えた6カ所がサテライト会場として様々な企画を実施します。

### Interview



鶴遊立地域活性化委員会  
委員長 西尾 皓史 さん

日本遺産の認定以降、地域資源を活用したまちの活性化に取り組んできました。交流イベントの実施や貴重な遺構の整備など、様々な活動で交流人口増加に努めています。サミット期間中も、この地域ならではの催しでお客様をお迎えしたいです。



遊泉寺銅山ものがたりパーク  
鶴遊立地区(鶴川町、遊泉寺町、立明寺町)

江戸時代から採掘が行われていた遊泉寺銅山。その貴重な遺産を後世に伝えるために整備した広場や遊歩道で小松のものづくりの原点を体感することができます。石切り場を活用した観光施設「ハニベ巖窟院」もあります。



かつての北前船寄港地  
安宅地区(安宅町)

歌舞伎「勘進帳」の舞台・安宅の関が有名。江戸中期から明治にかけて北前船の寄港地として繁栄し、歴史的な町並みや文化を感じることが出来ます。これまでも、常夜燈や「安宅の関」こまつ勘進帳の里の整備などを進めています。

## 日本遺産サミットin小松 カウントダウン連載第2回

# こまつの魅力を再発見!

## 日本遺産の歴史と文化が地域全体に広がるまち

日本遺産を構成する文化財や資源を持つ地域では、認定を契機に、郷土への愛着やブランド化を進め、まちの活性化や交流人口の拡大につなげようと様々な取り組みを行っています。

今回はそれら日本遺産の拠点となる地域を紹介します。

問い合わせ 文化振興課 ☎24・8130



九谷の里地区(若杉町、八幡、花坂町)

九谷焼の原料となる「花坂陶石」が花坂町で産出するため、江戸時代から九谷焼の生産が盛んな地域です。周辺には、素地の製造を行うたくさんの窯元や、九谷焼の発信拠点である九谷セラミック・ラボラトリーがあります。



西尾地区(観音下町、尾小屋町)

観音下町は「日華石」の産地で、石壁がそそり立つ景観は、見応えがあります。かつて鉱山を支えた尾小屋町には、製錬の過程で生じる「カラミ」を活用した独特の景観が残っており、見学会が定期的に開催されています。



滝ヶ原地区(滝ヶ原町)

良質な凝灰岩が採掘される滝ヶ原地区には、現在も稼働する石切り場や5つのアーチ型石橋が残っており、見学ツアーをはじめ、自然の味覚を味わう里山食堂など里山を体験出来る活動が盛んです。

## 未来への遺産 九谷焼が京焼に接すると...

~ Heritage for the Future: Kutani Ware Meets Kyo Ware ~

変容しながら、新たな魅力を発信し続ける九谷焼。京焼との出会いによる大きな変容が、再興九谷を生み出しました。本展では、走泥社などの作品を通して、九谷焼の新しいスタイルを探ります。



▲八木一夫「黒のメッセージ」(東京国立近代美術館所蔵)

**と き** 10月2日(土)~11月28日(日)

**ところ** 本陣記念美術館

**入館料** 一般300円、高校生以下無料

**休館日** 月曜日、祝日の翌日

**問い合わせ** 本陣記念美術館

☎22・3384

### 関連イベント

#### ■スペシャルトーク

「九谷焼の新しい表現の可能性について」

**と き** 10月30日(土) 14時~

**ところ** こまつ芸術劇場うらら会議室

※ライブ配信も行います

**講師** 秋元 雄史(練馬区立美術館 館長)

唐澤 昌宏(国立工芸館 館長)

吉田 幸央(九谷焼作家)

**定員** 30人(先着順)

**参加費** 無料

**申し込み** 10月9日(土)から本陣記念美術館

☎22・3384 ※ライブ配信の申し込みは

☒honjin@city.komatsu.lg.jpまで

## 石からはじまる物語 ~ものづくりこまつ~

石をキーワードに時を超えて様々なリンクするこまつのものづくりの物語と、物語を構成する石たちの誕生を日本列島の形成にまでさかのぼってご紹介します。

小松市指定文化財の金平金山絵巻を初公開します。

**と き** 10月2日(土)~11月28日(日)

**ところ** 博物館 **観覧料** 一般300円、高校生以下無料

**休館日** 水曜日、祝日の翌日

**問い合わせ** 博物館 ☎22・0714



金平金山絵巻  
小松市指定文化財  
「石黒家文書」より▶



## 日本遺産サミット記念特別展

Japan Heritage Summit Commemorative Exhibition

### 関連イベント

■世界に一つだけの  
石のアクセサリーづくりツアー

**と き** 10月31日(日)12時~17時

**集合場所** 博物館

**定員** 12人(先着順)

**参加費** 観覧料+500円(材料費)

**申し込み** 10月2日(土)から博物館 ☎22・0714

